

サプライチェーン の整合性

グローバルサプライチェーン
ネットワークの強化

LRQA



LRQAでは、業界の主要な専門家との議論を通じて、食品業界の現在および将来の状況に取り組んでいます。

この四半期、弊社のウェビナーでは、それぞれの分野で高い評価を得ている食品安全の専門家が、サプライチェーンの整合性、すなわち課題と機会について議論しました。

彼らは、食品安全規格が史上最高の水準にある時に、食品業界全体でリコール、病気、ブランドリスクにつながり続ける世界的なサプライチェーンネットワークの弱点が残っている理由を探りました。

これらの問題の多くは、主要な製造業者や小売業者の現場で発生するのではなく、サプライチェーンのさらに下流で発生するものですが、真の製品の整合性を実現するために不可欠な、強力な一次生産規格とチェーン全体の透明性の進化を確実にするために、業界や規制当局が何を求めているのでしょうか？

サプライチェーンがますます複雑化している世界では、今まで以上に、アイデアやベストプラクティスのストーリーを共有しながら、食品業界の将来について話し合い、議論するために、私たち全員が協力することが重要だと考えています。



今回の議論、および200以上の食品企業の聴衆から送られた質問は、本レビューでより探求する**4つの重要な論点**を明らかにしました。

デジタルアシュアランス

リモート審査の提供がますます受け入れられるようになっていきます。



情報とデータ

洞察力が高ければ高いほどリスクを軽減することができます。



堅牢なリスクアセスメント

リスクと脆弱性の領域を特定し、それに取り組むことは、サプライチェーン全体にわたる信頼の構築に役立ちます。



コラボレーションの文化

改善を促進するために、主な学習内容を共有し、共通の課題に対する認識を構築したいという要望が高まっています。



パネリストについて

Pam Malcontento

北米品質シニアディレクター
Ingredion Incorporated



James Nasella M.S.

グローバル食品安全および品質担当
Tate & Lyle



Helen Neilson

サプライチェーンスキーム責任者
LRQA



Pamは食品および医薬品添加物の製造と流通において30年以上の経験を持ち、常に進化する品質と製品安全システムを支援しながら、ダイナミックなチームの構築と継続的な組織変更のサポートを専門としています。

Pamは、Ingredionの前職で、食肉加工、低酸性缶詰食品、酪農品、菓子、乳児用および医療用食品、食品サービス製造などの経験があり、3年半前からIngredion Incorporatedに在籍し、現在は北米品質シニアディレクターを務めています。

Jamesは、世界食品安全イニシアチブ（GFSI）ベンチマーク規格、食品安全規制、食品安全およびハザード分析の専門知識を持つ20名の品質現場マネジャーのグローバルな食品安全の頼みの綱です。彼の監督下にあるサイトは、第三者GFSIが承認した審査において、BRCGSまたは同等の規格のAランクを維持しています。

10年間のキャリアの間、彼はギャップ評価、導入戦略を実施し、GFSI規格の更新と準拠に対して継続的に支援してきました。

Helenは、農業分野で25年以上の経験を持ち、食糧生産を含む農業分野で25年の経験があります。

このテーマに対する彼女の情熱はファームアシュアランスでのキャリアにまで及び、現在はLRQAのサプライチェーン農業のテクニカルディレクターを務めています。

彼女の豊富な経験は、家族経営の農場での監査、監査チームスキームの管理、そして業界をリードする企業での技術や大手養鶏業者での技術的な経験から得られたものです。

持続可能な農業と動物福祉の提唱者であるHelenは自分の専門性を高めるために赤身肉と家禽の健康と福祉に関する資格を取得しました。



リモート アシュアランス

Helen：困難な時期にも可視性を提供し続ける必要があり、それは従来の審査方法を適応させる必要がある場合です。COVID-19は世界に多大な影響を与えてきましたが、その一方で、審査プログラムが変化し、リモートからサイトに迅速にアクセスできるようになっているという肯定的な側面もあります。

LRQAは迅速にリモートアセスメントを開始しました。現在、世界の農業ポートフォリオ全体で6,000件のリモートアセスメントを完了しています。一例として、ウルグアイのサイトをイギリスの自宅からリモートで審査している審査員が挙げられます。

リモート審査により、サイトのリスクを迅速に特定して検証する技術的な能力が得られました。将来的には、審査のためのハイブリッドモデルの開発も視野に入れています。審査の最初の部分としてオンラインポータルから文書をレビューすることができ、2番目の部分は、サイトへの物理的な訪問またはライブストリームビデオのいずれかです。」

James：「COVIDの大流行が始まったとき、俊敏性と柔軟性が必要でした。私たちの組織では、第三者認証を維持する必要があるというスタンスをとりました。お客様の安全を確保し、他の年と同様に基準を維持していることをお客様にご理解頂き、安心感を与える必要がありました。

まず第一に、テクノロジーの展開であり、COVID-19が3月に始まったとき、私たちはMicrosoftチームとさまざまなシステムを1か月以内に展開しました。これらの展開の迅速さ、これらのシステムが提供する新機能の量が本当に素晴らしいものであることを見て、信じられませんでした。審査の観点からは、現在、EHSを整備し、現場にスタッフを派遣できるカメラを装備した品質マネジャーを社内で検討しています。そうすることで、工場内を歩き回って審査を実施できます。リモートテクノロジーによって、コンピュータから離れなくても工場全体を見ることができます。これは驚くべきことです。」

リモートテクノロジーにより、コンピュータから離れなくても工場全体を見ることができます。

James Nasella, M.S.
グローバル食品安全および品質担当
Tate & Lyle

リモート審査により、サイトのリスクを迅速に特定して検証するための技術的な能力が得られました。

Helen Neilson
サプライチェーンスキーム責任者 | LRQA

情報とデータ

世界的な食品安全事象の観点から何が起きているのかを知るために、データと情報を用いる必要があります。

Pam Malcontento

北米品質シニアディレクター | Ingredion Incorporated

Pam: 「何年も前からデータ収集については耳にしていたのですが、実際に役立つことは何もしていませんでした。もうその障害は終わったと思います。私たちは新しいシステムを検討し、リアルタイムKPIとダッシュボードの使い方を教えています。古いシステムやソフトウェアから移行することで、機会の実現が始まります。場合によっては、人為的なミスも排除されます。私たちは、プロセスを合理化し、タスクを完了するために何ができるかを検討しています。これをオンラインで行えば、生産性を向上させることができます。

しかし、データが多すぎるため、何が重要かを優先順位を付けて把握する必要があります。

世界的な食品安全事象の観点から何が起きているのかを知るために、データと情報を用いる必要があります。情報を活用して、この洞察を確実に用いてプロセスを改善し、それに関連するコミュニケーションを促進する必要があります。人々が他のものを讀んだりそれに移行するだけでなく、データを調査し、便利な方法で利用することを望んでいます。」

Helen: 「非常にエキサイティングな時期に突入していると思います。より多くの情報を入手し、リスクを減らす必要があります。私はこれまで、12か月から18か月に一度、一次生産サイトで使用される紙ベースのチェックリストで構成されるデータを、従来の形式で審査するのを見てきました。誰かがデータを有効に使うかどうかを検証する時点で、データが到着したときには、すでに古くなっていました。

現在私たちが目にし始めているのは、可視性を提供し、対応を可能にするリアルタイムデータの推進力です。予測分析は、問題の特定と解決に役立ちます。クライアントからの最も一般的な要請の1つは、リスクを示すデータであり、場合によっては自社のサプライヤーに対してベンチマークを行うことができます。そのデータを基に、適合性とリスクのレベルに基づいて、サプライヤーとの契約を継続するかどうかを、十分な情報に基づいて決定することができます。」

James: 「システム内のデータが正確であり、常にお客様と共有されていることを確認する必要があります。その後、新しい文書をアップロードすると、自動的に適切な相手に送信されます。サプライヤーマネジメントシステムが製品マネジメントシステムにも接続できる場合は、さらに効果的です。」

現在私たちが目にし始めているのは、可視性を提供し、対応を可能にするリアルタイムデータの推進力です。

Helen Neilson

サプライチェーンスキーム責任者
LRQA

堅牢なリスクアセスメント

James: 「リスクアセスメントは、正確な情報を確実に得るために十分に堅牢であることが重要です。現在、COVID-19の制限により、審査員のオンサイトアクセスが制限されており、多くはデスクトップの書類審査に切り替えています。サプライヤーをどれだけ信頼できるか、彼らとどの程度良好な関係を築いているかを自問して、リスクアセスメント（およびそのサプライヤーに対するアセスメント）が十分に強固であることを確認し、適切なメーカー/サプライヤーと取引を行っていることを確認する必要があります。」

品質リスクアセスメントを実施することで、これが組織内の調達およびサプライチェーングループを通じて伝達され、どの会社と協力したいかがわかるようにしています。そのため、優先サプライヤーに関しては、その情報を全員で共有しています。契約により、お客様には仕様書があり、何を期待しているかを明確にすることができるので、お客様は法的な観点から責任を負うことができ、安心感が得られます。

私が考えている他の分野は、お客様の購買資料を提供する販売業者です。これまで、場合によっては、販売業者は、材料が製造された場所の把握など、堅牢なアセスメントを確実にするために管理する必要があります、情報や特定の文書提供において必ずしも協力的ではありませんでした。また、偽のGFSI証明書を目にしたこともあるので、証明書が有効であることを確認する最初のステップを行うだけでも重要です。その時点で、サプライヤーリストから自動的に除外されます。」

Pam: 「弊社のサプライヤー承認およびサプライヤーマネジメントプログラムは、継続的に機会を探すことを教えてくれます。非常に経験豊富な担当者がこれらのアセスメントの一部を実施し始めた場合、その担当者が現場に移動する前に紙で最初にレビューを行ったとしても、調査すべきリスク信号を特定することができます。これは、私たちが食品安全について品質に関する可能な限り高い基準を構築し、見てきたことから学び続けるために重要です。」

GFSIの審査中に提供された情報が「チェックボックス」タイプの演習であることがわかる場合があります。そのため、会話をしたり、詳細な文書類を参照したり、プログラムの検証や妥当性確認を行ったりすることで、真の専門知識があり、要求事項を実際に理解しているかどうかを知ることができます。」



堅牢なリスクアセスメントにより、レポートのあらゆる項目を読み、明確にするための質問をするか、さらに掘り下げて必要な情報を得る必要があります。

Pam Malcontento

北米品質シニアディレクター | Ingredion Incorporated



サプライヤーをどれだけ信頼できるか、彼らとどの程度良好な関係を築いているかを自問しなければなりません。

James Nasella, M.S.

グローバル食品安全および品質担当 | Tate & Lyle

コラボレーションの文化

Helen: 「ブランドの評判を考えると、処理業者と一次生産者との関係が重要です。コミュニケーションの質を向上させ、問題や課題について話し合うことができれば、リスクとその効果的な管理方法をより理解できるようになります。

一次サプライチェーン全体にわたってクライアントと協力することで、一次サプライヤー、処理業者、小売業者、および消費者の間に協力的なパートナーシップがある場合、私は最大の成功を見てきました。これは、サプライチェーン全体にわたって課題を理解することです。歴史的には、農家は「ファームゲート」方式を好んでいました。一度農場の門を出ると、農家はその後で起こった問題をほとんど把握していませんでした。

今ご覧いただいているのは、情報が共有される、より協力的なパートナーシップです。これは、基準を試験し、強化するために提供された知識やピアレビューの例を交換する審査ソースから得られる可能性があります。私たちは、これにより、基準を満たし、維持するために何をすべきかについての共通のビジョンと理解を通じて、文化の変化とサプライチェーンの強化が促進されることを見てきました。

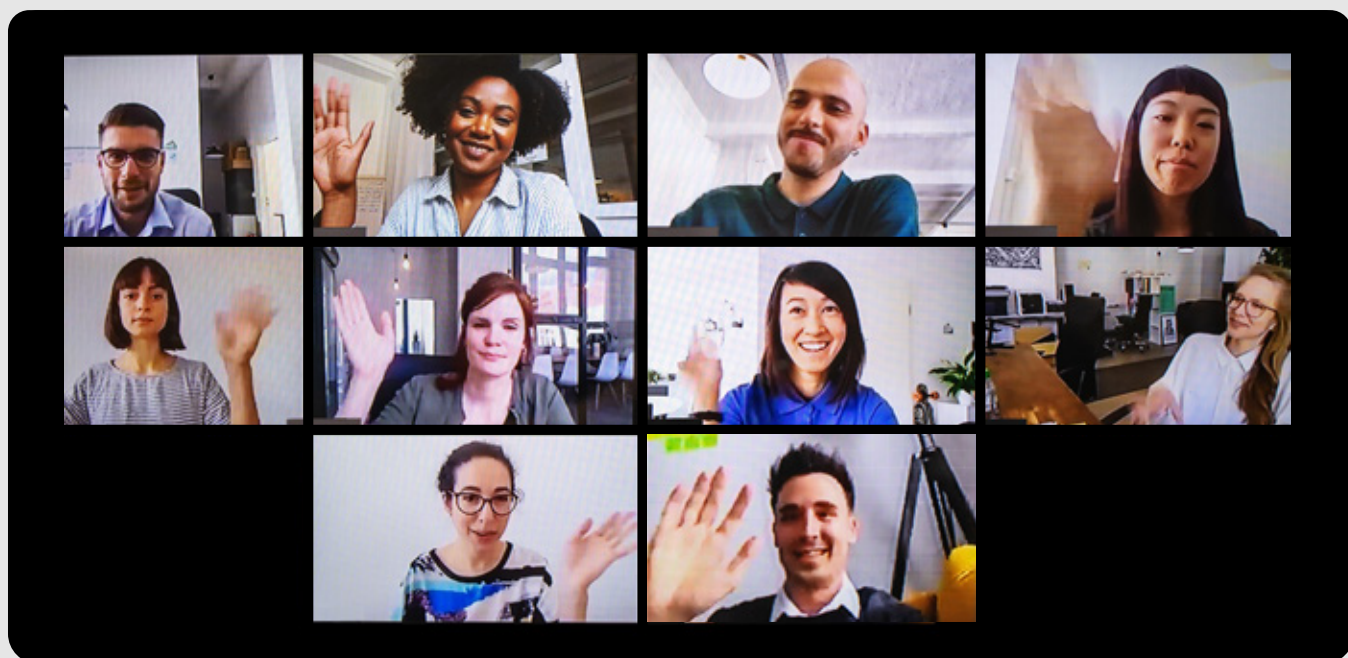
世界的に、この文化は劇的に変化しており、倫理的な目標を達成するために小規模なコミュニティを支援しようとする企業体からも、より協力的な関係が目立ってきています。」

私たちは、これにより、共有されたビジョンを通じて、文化の変化とサプライチェーンの強化が促進されることを見てきました。

Helen Neilson
サプライチェーンスキーム責任者
LRQA

一次サプライヤー、処理業者、小売業者、および消費者の間に協力的なパートナーシップがある場合、私は最大の成功を見てきました。

Helen Neilson
サプライチェーンスキーム責任者 | LRQA



Pam:「私は業界団体とのコミュニケーションと情報共有が今、本当に重要だと考えています。業界内の私たちが同じ困難や状況に取り組んでいる間に、協力して、より一貫性を高め、共通の目標に全員を関与させるのに、絶好の機会です。

また、品質に関する価値提案をトレーニングしてサプライチェーン内の他の会社に組み込み、製品、サプライヤー、関係のタイプに応じて、なぜ自社の基準がこれほど高いのか、なぜ継続的に基準を追加するのか、特定の分野に重点を置くのかを他の会社に常に思い出させる機会を探すことも、非常に貴重なことです。

“ こうしたパートナーシップと良好なコミュニケーションは、信頼を築くことになります。

Pam Malcontento
北米品質シニアディレクター
Ingredion Incorporated

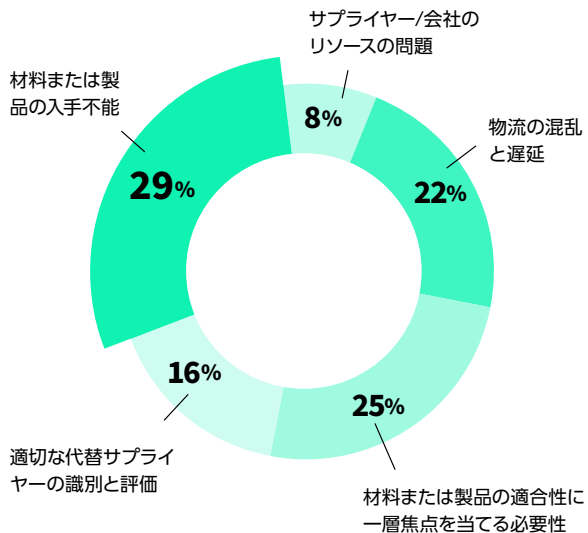
“ 業界内の私たちが協力して、より一貫性を高め、共通の目標に全員を関与させるのに、絶好の機会です。

Pam Malcontento
北米品質シニアディレクター | Ingredion Incorporated



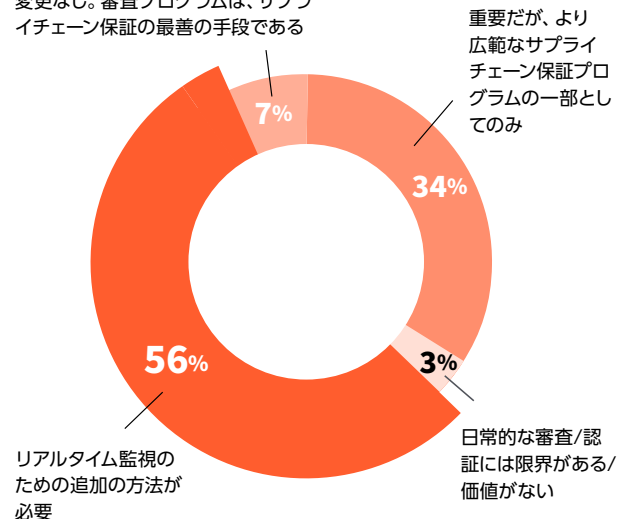
言わなければならなかったこと

最近のサプライチェーンにおける最大の課題は何ですか？

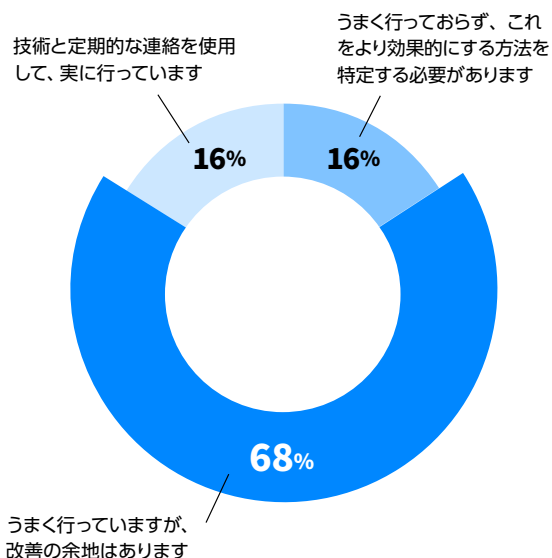


サプライヤー承認のための審査プログラムの将来をどのように考えていますか？

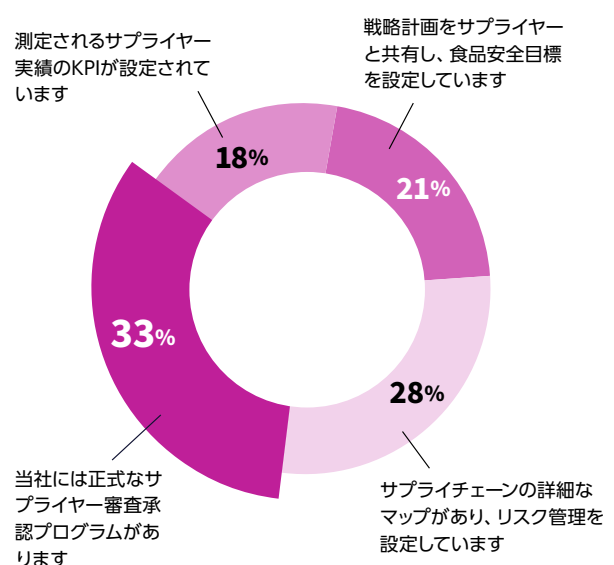
変更なし。審査プログラムは、サプライチェーン保証の最善の手段である



サプライチェーンとのコミュニケーションはどの程度うまく行っていますか？



サプライチェーンにおける信頼をどのように構築していますか？



参加者の1/3は、サプライチェーンにおける信頼を築くために正式なサプライヤー審査承認プログラムを用いていますが、90%は「審査」はもはやサプライヤーを保証するための完全なソリューションではないことも示しています。

Helen Neilson サプライチェーンスキーム責任者 | LRQA

LRQAが提供するサービス

LRQAの食品安全スペシャリストは、
次世代のサプライチェーン保証ソリューションを支援します。

デジタルアシュアランス



LRQAのリモート審査テクノロジーにより、食品会社は現場での制約に直面した場合でも、準拠スケジュールを維持できます。多くの企業と取引するためのライセンスの認証により、審査スケジュールを維持することで、製品の提供を継続し、関係者の信頼を確実にすることができます。

デジタルアシュアランスサービスは、完全に提供されているか部分的に提供されているかにかかわらず、従来の審査の障壁を克服し、同じ価値と成果を実現します。出張要件が軽減されるため、この審査の実施方法はより環境に優しく、企業が二酸化炭素排出量を削減できるだけでなく、多数の人を1日で1箇所に連れて行く必要性を最小限に抑えることができます。代わりに、複数の参加者がオンラインで参加できます。

情報とデータ



完全に接続された柔軟なシステムは、インダストリー4.0の背景にあるコンセプトであり、食品安全文化の継続的な改善のための豊富な機会をもたらします。ただしそのためには、集められたデータを効率的に解釈する必要があります。

ビジネスに保存されているデータを分析する際に業界の専門家を使用すると、脆弱性の領域をより効果的に特定し、管理し、サプライチェーンと製品をリアルタイムでマッピングおよび管理することができます。製品リコールのリスクを予測して低減し、厳格なプロセス管理を組み込むと同時に、廃棄物の削減とコスト削減を実現します。テクノロジーはビジネスを前進させるのに役立ちますが、そのためには、本質的ではないノイズを除去するための適切な分析ツールと人間による専門的な解釈を伴うことが必須条件となります。

堅牢なリスクアセスメント



LRQAは、市場をリードするサービス、専門家によるガイダンス、比類のない業界知識を提供することで、リスクの管理と準拠の確保を支援します。認証サービスに加え、堅牢なリスクベースの審査プログラム、教育・訓練と開発、改善サービス、サプライチェーンマネジメントなど、ビジネスに合わせてカスタマイズされたソリューションを作成し、実行します。

1つのサイズですべてに対応できるわけではありません。弊社のカスタマイズされたソリューションは、企業に固有のものであり、結果と洞察を使用して、ブランド保護を確保しながら、保証と継続的改善を促進する変化を推奨します。

コラボレーションの文化



私たちは、信頼、コミュニケーション、コラボレーションに基づく長期的な関係を構築します。多くの場合、他の業界リーダーと協力して、お客様のビジネスパフォーマンスの向上と具体的なメリットの実現を支援しています。戦略を成功させるには、それは今日の世界で食品分野が直面する課題を学び、改善し、取り組むための鍵となる専門家の協力が必要です。お客様の懸念事項の特定の分野を理解することによってのみ、お客様に適したソリューションを提供できるため、協力するビジネスに慎重に耳を傾けます。



YOUR FUTURE. OUR FOCUS.

LRQAについて

認証、ブランド認証、食品安全、サイバーセキュリティ、インスペクション、教育研修分野の比類なき専門知識を結集することにより、当社は世界的な認証のリーディングプロバイダーの地位を確保しています。

その伝統は誇るべきものですが、顧客との今後のパートナー関係を構築する上で、本当に重要なのは現在の当社の姿です。揺るぎない価値、リスク管理・軽減における数十年の経験、未来への的確なフォーカスを組み合わせることで、より安心・安全・持続可能なビジネス構築に向けてお客様をいつでも支援します。

独立した審査・認証・教育研修から、技術アドバイザリーサービス、リアルタイムの認証技術、データによるサプライチェーン改革まで。当社の革新的なエンドツーエンドのソリューションが、変化の速いリスク環境に積極的に対処できるようお客様をサポートします。つまり、未来の状況を成り行きに任せるのではなく、お客様が自ら構築できるようになるのです。

お問い合わせ

URL : <https://www.lrqa.com/jp>



LRQA リミテッド

〒220-6010

横浜市西区みなとみらい2-3-1

クイーンズタワーA10階

本書に示すすべての情報が正確かつ最新であるように、LRQAでは細心の注意を払っています。ただし、情報の不正確さや変更について、当社は一切の責任を負いません。

Care is taken to ensure that all information provided is accurate and up to date; however, LRQA accepts no responsibility for inaccuracies in or changes to information.
For more information on LRQA, click here (<https://www.lrqa.com/entities>)
© LRQA Group Limited 2021

